

令和4年第11回（11月）山陽小野田市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和4年11月17日（木曜日） 14時00分 開会

2 場 所 高千帆地域交流センター 講義室

3 出席委員 教 育 長 長 谷 川 裕 職務代理者 砂 川 功
委 員 竹 田 佳 枝 委 員 中 村 眞 也
委 員 末 永 育 恵

4 欠席委員 0人

5 委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

| | | | |
|---------------|---------|----------|---------|
| 教育部長 | 藤 山 雅 之 | 教育総務課長 | 浅 川 縁 |
| 学校教育課長 | 長 友 義 彦 | 埴生幼稚園園長 | 桶 谷 美 和 |
| 学校給食センター所長 | 和 田 英 樹 | 社会教育課長 | 船 林 康 則 |
| 中央図書館長兼厚狭図書館長 | 山 本 安 彦 | 歴史民俗資料館長 | 若 山 さやか |
| 小学校長会会長 | 下 瀬 昌 巳 | 書 記 | 野 原 嵩 恵 |

6 傍 聴 人 0人

7 議事日程

(1) 開 会

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 報 告

(4) 休 憩

(5) その他

① 県費負担教職員の人事について

(学校教育課)

② その他

(6) 閉 会

開 会

○長谷川教育長

それでは定刻になりましたので、11月の定例教育委員会会議を開かせていただきます。
本日は委員全員ご出席ですので、会議が成立していることをご報告させていただきます。

会議録署名委員の指名

○長谷川教育長

会議録署名委員の指名を行います。今回は砂川委員、中村委員よろしく願いいたします。

会議非公開の決定

○長谷川教育長

本日の議事日程の中の「5. その他」の「県費負担教職員の人事について」は、特定の個人に対する審議であり、公開することにより、職員との信頼関係が損なわれると認められるとともに、人事の適正な執行に支障が生ずると認められるため、非公開にしたいと思います。これに賛成される方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

賛成多数と認めます。それではレジュメに沿って進めてまいります。

各課・館業務の報告

○長谷川教育長

コロナ禍で開催が見送られていた秋の祭りや行事が、今年は色々なところで開催され、私もいくつかご案内いただきました。実りの秋を実感する11月でしたので、まずは、私が参加させていただいた諸行事について報告いたします。

10月29日土曜日には、江汐公園で「わくわく竹灯り IN 江汐」に出席いたしました。この行事は、有帆竹灯会の皆さんが毎年行われているもので、有帆小学校の児童が地域の皆さんの指導を受けて作成した竹灯籠にも灯りが点灯されました。フルートの生演奏もあり幻想的な雰囲気を楽しみました。次に、11月3日文化の日に市サッカー場で行われました「スマイルジュニアフェスタ」です。会場には巨大なエア遊具が設置され、子ども達が歓声をあげて楽しんでいました。ステージでは小中学生による吹奏楽の演奏やカラオケ、ダンスの発表など児童生徒も参加し、会場を盛り上げていました。11月5日土曜日には本山ドリーム体育館の法面に、竜王中学校の生徒たちが作成したモザイクアートの除幕式がありました。今回のテーマは、20年前まで小野田線を現役で走っていたクモハ42系です。今は幡生に保管されているそうですが、場所がJR長門本山駅の前という

こともあり、地域の皆さんも昔の風景を思い出しておられました。次はどのような風景が子ども達によって描かれるのか楽しみです。11月12日土曜日には「厚陽ふれあい文化祭」がありました。公民館から地域交流センターにかわって初めての文化祭でしたが、例年通りの充実した文化祭の開催を喜んだ次第です。今後も休日に色々な行事が予定されていますが、コロナ感染対策をとりながら楽しみたいと思います。

さて、次は、10月31日・11月1日に長崎で行われました「市町村教育委員会研究協議会」の報告です。『つながりで育む「人」そして「ふるさと」』と題した基調講演でNPO法人長崎SDGsクラブの江頭明文副代表理事が話された内容の要点を資料としてお配りしておりますのでご覧ください。特に印象に残った部分は、6ページ下にある「人生100年時代」の「教育」を考えることは持続可能なふるさとの創り手を育むことになるということ。そして、その基盤形成期にあたる高校までの18年間のふるさと教育の重要性です。7ページをご覧ください。ふるさと教育を進めるうえで留意すべきはふるさと教育の日常化です。そのためには、地域と家庭、学校相互の縁が大切であることが述べられました。そして、子どもたちに行うふるさと教育の意義を自分らしく生きる力の基盤を整えること。そして、自尊感情の基盤を培うこと、とまとめられました。持続可能なふるさとの創り手を育む視点を与えていただきました。

最後に、11月7日月曜日に行われた「山陽小野田市防災標語コンクール表彰式」についてです。この防災標語コンクールは、今年で3回目となりますが、今年も市内の1448名の児童生徒の皆さんが応募してくれました。このように防災について高い関心を持って取り組んでくれたことを大変うれしく思いました。作品は防災に大切とされる「自助」「共助」に関するものが多く見られました。最近では、地域の防災訓練に小中学生と一緒に参加し、地域の皆さんとの触れ合いも生まれています。よい取組だと思っています。

私からの報告は以上です。何かご質問等はございますか。よろしいですか。

それでは藤山教育部長、お願いします。

○藤山教育部長

はい。私の方から、これまで市が様々なシーンで市民の皆様方にアナウンスしております、地域運営組織RMOの動きについてご報告いたします。

第2次山陽小野田市総合計画中期基本計画の重点プロジェクト「3つの創る」がございしますが、そのうちの1番目、「地域を創る」で地域運営組織の形成を重点政策として掲げております。本日この地域運営組織を全庁体制で推進すべく、市長を本部長とする地域運営組織推進本部会議が開催されました。地域運営組織RMOとは、一般的には、地域の生活や暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実施する組織と言われております。本日の本部会議で配られました、お手元にありますカラーで印刷された資料をご覧ください。地域で課題を分析、抽出して地域で取り組むことができるものにつきましては、中間支援施設である地域交流センター等を通じて、一緒になって市役所の担当課が支援、連携を行うというイメージが示されました。ここにあります部会はいくまで例示ですので、各地域の事情によってはこの2つの部会が一緒になって形成されたりすることを想定しているようです。確認ですが、ここにあります8つの部会が必ずできるわけではないのでよろしくお願いいたします。

また、裏面は、市長、副市長、教育長及び議長等から構成される推進本部「山陽小野田市地域運営組織推進本部」、各部署の課長級から構成される幹事会「山陽小野田市地域運営組織推進幹事会」

も、地域交流センターと通じて一緒になって支援、連携します。

今後のスケジュールについてですが、今年度は、市役所では地域運営組織のスキームの共通理解、地域におかれましては運営組織の準備会の立ち上げに向けての準備、来年度以降は、地域では準備会での地域課題の分析と抽出、市役所ではその準備会の支援等を行う予定にしております。そして準備ができましたら、早ければ6年度に地域運営組織で地域課題の解決に向けて取り組むことが計画されております。ここで改めてお伝えしたいのが、早ければ6年度ということで、各地域によって準備が整わない、準備がかかるということでありましたら、準備が整い次第スタートするというのをここで確認させていただきたいと思います。

私の方からは以上でございます。

○長谷川教育長

はい。ただ今の説明に何かご質問等はございますか。

詳細については今、あまりお伝えすることはできません。実は配られた資料はもっと厚かったのですが、今表に出せるのはこのくらいだろうということです。地域の皆さんが作り上げるものだというスタンスで考えていけたらと思います。

それでは教育総務課長、よろしく申し上げます。

○浅川教育総務課長

はい。教育総務課から2点、ご報告させていただきます。

1点目は寄附採納の報告です。別紙の寄附採納一覧表をご覧ください。今回は個人の方から1件、法人の方から1件寄付がありました。その中で資料の訂正をさせていただきます。10月27日に匿名の方から現金500万円の寄附がありましたが、その500万円の内訳として「学校図書250万円、図書館500万円」とありますが、この図書館の金額500万円は誤りで、250万円に訂正させていただきます。申し訳ございません。

2点目は共催後援の報告です。別紙共催後援一覧をご覧ください。この1か月間、教育委員会が共催後援を承諾した行事等の一覧となりますので、ご覧いただけたらと思います。

教育総務課からは以上です。

○長谷川教育長

はい、ただ今の報告に何かご質問等はございますか。よろしいですか。

それでは次に参ります。学校教育課長、申し上げます。

○長友学校教育課長

はい。学校教育課から報告します。

まずは新型コロナウイルス感染症についてです。11月の第1週では小学校で5人、中学校で7人、第2週では小学校で19人、中学校5人、第3週は昨日までで小学校19人、中学校12人の陽性者を確認しています。埴生幼稚園では確認されておりません。その内教員も6人含まれております。学級での広がりが懸念された小学校では昨日まで学級閉鎖を行っております。陽性者が増えているため、感染対策を徹底するとともに、家庭においても食事や睡眠等、抵抗力が下がらないようにご協力を呼び掛けているところです。先程連絡が入りまして、別の小学校ですが、陽性者が増えたということで明日から学級閉鎖に入る予定としております。

次に中学校の進路説明会についてです。中学校の進路説明会を昨年と同様に校長から保護者に対して行うようにしております。今年度は私立高校や国立高専の学校等でweb出願が始まり手続きが一部変更されております。そのため中学校教頭会と中学校校長会で十分に確認を行い、遺漏なく

手続きを進めるよう態勢を整えているところです。

次に就学時健康診断です。来年度小学校に入学する幼児に対して健康診断を小学校学校医と協力して実施しています。本日が最後となります。就学前に不安を抱えておられる保護者の方もいらっしゃると思いますので、社会教育課と連携し家庭教育支援チームの協力を得て座談会等も実施しております。子ども、保護者が安心して笑顔で4月に入学できるよう、保育所、園と共に連携して支援してまいります。

10月から11月にかけては教員研修会も盛んに実施されております。新学習指導要領の目指す「自主的・対話的で深い学び」を目指した授業作りや、ICTの有効活用等について教員だけでなく地域の方も交えたオンライン研修を実施しております。地域の方々のご意見は教員ではない視点からのものも多数あり、教員の視野を広げたり人材育成のためになったりと、大変有効なご意見と考えております。保護者、地域の方々にもこうした研修会、また、児童参観等にも多く参加していただくことで今の教育が目指していること、重点を置いて取り組んでいる事等、ご理解いただける機会となるようにしていきたいと考えております。

山陽小野田市の子ども達が様々な場面で活躍しております。「第44回少年の主張全国大会～私の主張2022」に、山口県代表として参加した小野田中学校の河本さんは努力賞となりました。また山口県教育会が主宰する「第13回私の志作文」では、高千帆中学校の畑さんが、山口県教育委員会教育長賞最優秀賞を受賞しております。また佳作に、2年生の岩本さんも入っております。また、宇部市・山陽小野田市の消防が主宰しております中学校防火・防災作文においても2名が入賞したり、市内での防災標語、先程教育長から報告がありました防災標語や、俳句などさまざまなコンクールが行われておりますが、そこにたくさんの子ども達の作品が出品されており、力作がそろっております。今後も様々な活躍を期待したいと考えております。

最後に市外からの学校視察についてです。11月22日には大牟田市議会議員8名が本市のコミュニティースクールの取組について竜王中学校に、11月28日には下関市教育委員会から本市の小中一貫教育の取組について埴生小・中学校に視察に来られます。本市の取組が市外において評価されている事を大変うれしく思っております。

以上で報告を終わります。

○長谷川教育長

はい、ただ今の報告に何かご質問等はございますか。よろしいですか。

それでは埴生幼稚園園長、よろしく申し上げます。

○桶谷埴生幼稚園園長

はい。埴生幼稚園です。よろしく申し上げます。

園の様子をお伝えします。子ども達は当園での芋ほり、そしてその芋を使った焼き芋大会、また親子遠足で花の海に行ったりと秋の自然を十分に満喫しています。花の海では親子で落花生の収穫体験や動物の餌やりをしました。落花生の収穫や塩ゆでをして食べることが初めての保護者も多く、親子で一緒にとても良い体験ができました。その他については手元の資料に載せていますので、後程ご覧ください。

続いて不審者対応訓練・保護者引き渡し訓練についてです。学校教育課の安全サポーターの方を招いて、不審者の対応と保護者への引き渡し訓練を行いました。不審者対応では私に対応している間に、職員が連携を取りながら子ども達を安全な場所へ避難させ、園舎へ侵入してきた際に備え机やイスで経路をふさいだり、110番通報したりしました。また、不審者訓練後一斉メールで保護

者へ迎への要請をし、引き渡し訓練をしました。保護者の協力のおかげで大きな混乱もなく、子ども達を無事引き渡すことができました。研修等で女性が“さすまた”を使って制圧することは難しいと教わってはいたのですが、実際にやってみると相手が体重をかけるだけで押し戻されるという体験をしました。訓練と分かっているもやはり大きな声で罵声を浴びせられると、恐怖や不安を感じて、日頃の備えと様々な想定で訓練することの大切さを改めて実感した訓練となりました。

続いて就学時健診についてです。昨日就学時健診がありました。年長児の子ども達は3園交流で桃太郎園・あおい保育園のお友達との顔写真や自己紹介カードを事前に見て、会えることを楽しみにしていました。保護者にも社会教育課の方が子どもとのかかわりについて寸劇を交えて自己肯定感の育て方の話や地域サポーターの方とのグループ討議もあり、園児だけでなく保護者の方も就学に向けて安心されたようでした。年長児に対して残りの園生活も、就学に向けて生活面の見直しを丁寧に行っていきたいと思っております。

最後に、来週末26日に園では、保育発表会を予定しています。新型コロナウイルス感染症陽性者も増えてきましたが、一世帯3名という制限をして感染対策を十分注意して行ってまいりたいと思っております。

埴生幼稚園からは以上でございます。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

私も落花生のなり方には、小さい時にすごく感動した記憶が今でもありますので、園児の皆さんにもそれが伝わるといいなと思って聞かせていただきました。

○桶谷埴生幼稚園園長

ありがとうございます。

○長谷川教育長

それでは学校給食センター所長、よろしく申し上げます。

○和田学校給食センター所長

はい。学校給食センターです。よろしくお願いたします。

11月5日は「津波防災の日」ということで、学校教育課の資料の方にもございますが、防災の日に併せまして、11月4日金曜日に学校給食に非常食を提供いたしております。これは毎年この時期に行っておりまして、今年はレトルトの「救給カレー」を提供いたしております。本来は過熱しなくてそのまま食べれる物ですが、給食では湯銭をし温かい状態を出しております。

その他といたしまして、来月17日「親子食育料理教室」を予定しております。コロナ感染者数も増えてきており、食事を伴うイベントとはなりますが現在のところ行う予定としており、今月15日から申し込みを受付開始しております。感染対策をしっかりと行ってまいりたいと考えております。

学校給食センターからは以上です。よろしく申し上げます。

○長谷川教育長

はい、ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

この防災の給食提供は年に一度ですか。

○和田学校給食センター所長

はい。

○長谷川教育長

最初は私も食べたのですが、正直、美味しくないという印象でした。だから子ども達が食べてどう受け止めたのか、ちゃんとアンケートして下さい、ということセンターをお願いしていましたが、今年はどうでしたか。

○和田学校給食センター所長

はい。確か最初は根菜スープとかだったので、あまり味的に子ども受けが良くなかったかなと思います。昨年からコーンポタージュとか、今年は特にカレーで、ナンも付けましたから評判が比較的良かったと聞いております。

○長谷川教育長

良かったです。私も、たぶんこれは子ども達が好きだろうな、と思いました。

○末永委員

はい。

○長谷川教育長

はい、末永委員。

○末永委員

はい。親子食育教室ですが、開催されればいいなと願っているところです。申込の仕方が、コロナ前は「給食センターに直接応募して下さい」という用紙での応募で、ちょっと応募しにくいな、という声を聞いていました。今回はQRコードが付いていてそのまま申し込めるようになっていて、すごく進化しているなとびっくりしました。そういった工夫をしてくださっていることに、非常にありがたいなと。お知らせプリントを見てすぐに応募でき、すごいなと感じ、とても嬉しかったです。ありがとうございました。

○和田学校給食センター所長

こちらこそありがとうございました。

○長谷川教育長

すみません、私はそこまで進化していることを知りませんでした。

○末永委員

募集の仕方が今どきでいいな、と思いました。良かったです。

○長谷川教育長

はい、ありがとうございます。よろしいですか。

はい、それでは次にまいります。社会教育課長、お願いします。

○船林社会教育課課長

はい。それでは社会教育課から3点ご報告いたします。

まず糸根公園の再整備に関するワークショップについてです。青年の家を含む糸根公園につきましては、スマイルエイジングの要素を取り入れた公園として一体的な再整備の検討が進められております。今回の再整備にあたっては糸根公園全体を都市公園として整備するため、市の都市計画課が主体となって検討を始めております。これを進めるにあたり、どのような公園を作っていくか市民と一緒に考えていく事を目的として、2月まで4回の予定でワークショップが計画されており、これに社会教育課からも参加いたします。第1回目は本日、11月17日の18時30分から開催され、4回の協議を経て、最終的には2月に計画の素案を策定する予定となっております。

続きまして同じく青年の家に関するのですが、青年の家の駐車場の西側に山陽消防署植生出張所がありますが、この出張所の新築拡張工事が現在進められております。この程、この出張所の工

事のための土地造成工事が始まることとなりました。工事は今月から土地造成第1期工事が始まり、建築工事、解体工事などが行われ、最終的には令和7年度ないしは8年度に事業が完了する見込みとなっております。なお、青年の家についてですが、駐車場は来年度の土地造成が本格的に着工した段階で、駐車場が半分程度使用できなくなります。そのため、現在の天文館前の駐車場を少しでも多く確保できるように、その周辺の工事と先行して行うこととしております。利用者の皆様にはご迷惑をお掛けすることになりますが、糸根公園の再整備と併せて地域の安全・安心の確保と快適で潤いのあるまちづくりを目指して取り組んでまいりたいと思っております。

続きまして、県の公民館広報コンクールについてです。毎年あります山口県公民館連合会主催の山口県公民館報コンクールにおきまして、今年度も有帆地域交流センターの広報誌が奨励賞を受賞いたしました。公民館から通算して4年連続での受賞となります。ふるさと通信「ありほ」は広報作成委員として地域住民が参画していること、センター主催事業だけでなく有帆小学校や地域の行事や歴史を記載していること。地域の様々な人物を取り上げる内容となっていることなど、多くの方に読んでいただける工夫がなされているということが評価されました。また、有帆以外の他の地域交流センターでも、広報誌がどんどん作成され始めており、情報発信が現在積極的に行われております。今後もこうしたスタイルで発信し、地域の拠点施設とし地域づくりに努めてまいりたいと考えております。

続きまして新聞記事でございますが、今回1点のみですが、出合ふれあいまつりの記事です。10月23日に出合地域交流センター主催のもとでふれあいまつりが開催されました。長谷川教育長からもお話がございましたが、コロナの影響で3年ぶりに開催され、厚狭中吹奏楽部の演奏、また、生涯学習クラブが学習の成果を発表するなど、大変盛り上がりを見せました。地域住民や利用者のつながりだけでなく子ども達との交流も深まり、多世代が集まる行事になったと思っております。他の地域交流センターでも3年ぶりのお祭りが今年度はどんどん開催され、賑わいを取り戻しつつあると感じております。

以上で社会教育課からの報告を終わります。

○長谷川教育長

はい、ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

○砂川委員

はい。

○長谷川教育長

はい、どうぞ。

○砂川委員

はい。花の海で新しい苗が手に入るの、花を見に行くというよりも苗を買いに行く機会が多いのですが、その時にいつも公園の前を見るとこれだけ立派な土地があるのだから、これは絶対にいい計画を持って作り上げると植生地区がすごく明るくていい都市になると思いつつ車を運転しています。4回会議をすと言われましたが、宇部市は、新聞等で過程を知らせてくれます。それを見ながら、宇部市も綺麗になっていくと楽しみに待っています。山陽小野田市も委員会だけで話し合うのではなくて、何かの機会を利用しながらみんなでその気持ちを持っていけば、あの辺りの公園もみんなが納得するものができると思います。ある特定の委員さんだけで話し合っ、あとから出来上がったものを見せるよりは広く市民に議論を聞いてもらいたいと私は思います。中村委員、いかがですか。

○中村委員

はい。アンケートを募集しましたよね。あれはどこが募集したのですか。

市民全体に1500人対象に、公園のアンケートを・・・

○船林社会教育課課長

あれは、都市計画課が今回メインとなっておりますが、コンサルタント会社が入っております、コンサルタントと都市計画課がアンケートの案を作りまして、全世帯ではないですけども、何千枚かは送ったと聞いております。

○長谷川教育長

はい。今日の会議から一歩が踏み出せるのではないかと思いますので、市長も「共感」という言葉を使って皆が納得し共感するという体制の中で市政を進めていきたいというふうに申されていまして、私からも機会があれば今、砂川委員が言われたように、市民に対して進み具合をアピールできるようにしてまいりたいと考えております。部長から何かありますか。

○藤山教育部長

はい、補足を。今回計画を作るうえで業者さんを選ぶところで色々説明を聞きました。ワークショップを今から4回開かれるということで、その内容についてはホームページ等に出すという認識でいます。また、4回目、計画段階ですが、埴生地区の皆さんがオープンで見られるような形のものを探っているようでありますので、業者さんの方で広く意見とか進み具合等を示そうとしておられます。砂川委員さんからいただいた話につきましては、担当の都市計画課の方にも伝えて、より広く周知できるようにしていきたいなと感じました。以上です。

○砂川委員

部長、よろしいですか。

○長谷川教育長

はい。

○砂川委員

ホームページを見ていない人は多いです。だから誰もが分かるような手段で。

○藤山教育部長

おっしゃる通りで、ホームページが十分ではないということは各課でも承知してはいて、その辺も含めて都市計画課には伝えておきたいと思います。

○長谷川教育長

よろしいですか。

○竹田委員

はい。

○長谷川教育長

はい。

○竹田委員

はい。是非埴生地域交流センター辺りに、誰もが意見を入られるようなボックスを作ってもらって、そういうことに関わらない人達の希望とかも拾い上げていただけるような形がとれたらいいな、と思います。

○船林社会教育課課長

考えてまいりたいと思います。

○竹田委員

お願いします。

○長谷川教育長

今は埴生の交流センターの話をされましたけれども、これは市内、市の開発ですから。

○竹田委員

そうですね。

○砂川委員

あんない所はない。

○長谷川教育長

市民の皆さんが意見を言えるようにしておくということは必要かもしれませんね。

○船林社会教育課課長

はい。承知いたしました。

○長谷川教育長

よろしいですか。それでは次にまいります。図書館長、よろしくお願いします。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

図書館からご報告申し上げます。

中央図書館資料をご覧いただけたらと思います。11月は図書館フェスティバル月間と位置づけております。11月の行事の中で、6日映写会「ドライブ・マイ・カー」を上映いたしました。これは大変な人気で見られない方もいらっしゃいましたので、12月に厚狭図書館でもう一度上映することにしています。それから11日に「萬來舎」、そして12日「図書館でオープンマイク！」を行いました。これは二つとも図書館創発会議の主催でございます。萬來舎というのは福澤諭吉が始めたと言われてはいますが、今、慶応義塾大学で受け継がれているようです。どなたが来てもいいですよ、ゆっくりくつろいでください、という意味合いでそういうスペースを提供したということです。オープンマイクは、山口市で定期的開催されているのですが、それを図書館で開催しました。13日には手嶋沙織さんというピアニストのリサイタルを行いました。

次に、11月12月の行事予定です。今度の土曜日、日曜日は行事が盛りだくさんです。「絵本で子育て出前講座」は村中李衣さんという作家の方にいつも行っていただいておりますが、今回はさくら保育園に出かけていただくことにしております。それから日曜日の「声で楽しむ詩のひろば」というのは毎月開催しておりますポエムカフェの拡大版です。また「持ち寄り本カフェ×w a k a y a m a 読書部 推し本ライブ！」というのをを行います。w a k a y a m a というコミュニティハウスがありますが、そこでは2カ月に1回読書会を開いておられます。そこと一緒にコラボして行うというものです。そして27日がいよいよ本番の図書館フェスティバルです。その【出店・展示】の中に、厚狭高校総合家庭科服飾作品展示というのがございますが、昨日からこの総合家庭科の服飾展示を開催しているところです。5体のマネキンがありまして、それぞれ全国規模の大会で1位、2位を取った作品が展示されております。

さらに新聞記事を見ていただき、最後に統計数字をご覧いただければと思います。実は先月お示ししなければならなかったのですが、少し遅れてしまいました。四半期ごとに統計をお示しているものです。来館者数と貸出点数それぞれ見ていただければと思いますが、全市の方で数字を申し上げますと、来館者数は昨年同期に比べて14パーセント増加しております。そして貸出点数は約8パーセントの増加となっております。

図書館からは以上です。

○長谷川教育長

はい、ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

○砂川委員

はい。

○長谷川教育長

はい、砂川委員。

○砂川委員

図書館館長さんのフェイスブックを私はほとんど見ていまして、一番感動したのは昨日です。厚狭高校の総合家庭科生徒の5着ですが、館長の社会性の豊かさというのか、図書館でこういうことをするのか、と感激しました。またその作品がいいですね、立派ですね。高校生がこれだけのものができるのか、と思いました。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

今回は思わず写真に撮ってしまいました。すごく立派な作品でした。

○長谷川教育長

私もフェイスブックを見る習慣をつけたいです。

○砂川委員

本当に社会性が豊かで、いつも感心させられています。

○長谷川教育長

よろしいですか。

(「はい」という声あり)

それでは歴史民俗資料館館長、よろしくお願いします。

○若山歴史民俗資料館館長

はい。歴史民俗資料館から3点、ご報告いたします。

10月15日から今月13日まで開催しておりました、「発掘された山口巡回展」が終了しました。県内での出土品が主でしたが、竜王山ふもとの桜の木古墳の出土品も併せて展示したところ、1カ月弱で516人の入館者がありました。次にお配りしております、青いチラシをご覧ください。今月26日から令和5年2月7日まで「企画展 窯のまち」を開催いたします。ふるさと文化遺産に登録された窯のまちの内容を実際の資料と併せて展示することで、より理解を深めてもらえる展示となっております。古代の須恵器から一大地場産業となった硫酸瓶の製造や現代ガラス展まで幅広く紹介をいたします。12月3日には山口大学埋蔵文化財資料館の田畑直彦先生に記念講演会を行っていただきます。また、チラシ作成時には詳細が決まっておりませんで、残念ながら載せることができなかつたのですが、市内の小中学校がまちの歴史などを調べてまとめているものを企画展の会場内に展示します。主に硫酸瓶を作っていたもの、徳利窯に関すること、セメント製造に関すること等、そういった調べたことを発表していただきます。年内は小野田中学校1年生、年明けからは高千帆小学校4年生が発表をいたします。このほかにも応募があれば期間中に展示したいと思っています。ご家族の方など多くの方に見に来ていただけるようご案内をしているところです。

最後に27日図書館フェスティバルに参加をいたします。スタンプラリーに参加して、「企画展 窯のまち」の展示を見たら正解や答えが分かるクイズを開催いたします。

資料館からは以上です。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

それでは小学校長会会長、お願いします。

○下瀬小学校長会会長

小学校長会から3点ご報告します。

1点目は学校の教育活動についてです。2学期も半分以上経過し、残り3分の1程度になりました。心地よい晴天が続いていることもあり、各学校とも感染対策しつつも多様な活動を展開しています。これまで慣例化していた教育活動を工夫・改善して体験活動、集団活動を取り入れております。10月の下旬には各学校が近くの名勝への遠足や、校区内の公園に行き自然体験活動を行っております。これには地域の方や保護者の方のご協力で、見守り活動等を行っていただいております。

11月初旬に行われました学習発表会あるいは参観日では、一部コロナ感染の対策のため延期した学校もありましたが、各学校とも規模やその趣旨に応じて保護者の参観の制限、リモート参観などをしながらも工夫して発表会をしております。現在は持久走大会に向けて練習を重ねている学校がほとんどで、大会の在り方も工夫しております。本校では朝、あるいは体育の時間、中間休み等を利用して自分の記録を伸ばそうと一生懸命走っております。

2点目は小中連携についてです。各中学校区では毎月校長ミーティングを行っておりますが、高千帆中学校区では教頭がリードして学力向上、生徒指導、教育課程のミーティングも実施しております。本日は生徒指導のミーティングを教頭と生徒指導が有帆小学校に行っておりまして。また、11月15日には小学生が中学校を見学する、6年生のふれあい体験学習を行いました。中学校側から学校説明、生徒会による学校行事・部活動の紹介、その後授業参観・部活動の見学など多くの事を体験しました。早く中学生になりたいという期待と、どんな生活になるのだろうかという不安な気持ちが入り混じりながらも、興味津々で真剣に見学をしております。

3点目ですが、小学校の校長会の秋季教育研究大会についてです。10月28日に岩国市を会場に秋季教育研究大会が行われました。3年ぶりの集合型研修となりまして、久々に顔を見る校長先生方もいらっしゃいました。審議監、それから岩国市長、和木町長の挨拶のあと、日本ペップトーク普及協会の代表理事 岩崎由純先生から「教育現場に活力を与える言葉の力」と題して講演をいただきました。市内の校長からも「元気が出た」と高い評価があり、今後の学校生活や学校に生かしていきたいという言葉も聞かれました。午後からは分科会ですが、山陽小野田支部は1年目の研究で13分科会の「地域との連携協働」について研究発表を行いました。県教育委員会から指導いただきました11の視点を基に2年目の研究をこれから行いたいと考えております。

以上でございます。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

今、岩国大会というのを聞いて、私が岩国の校長だった時に大会を運営したな、というのを思い出しました。もうあれから一巡したんだな、と歴史を感じました。

次回の会議日程

○長谷川教育長

それでは次回会議日程について、教育総務課長よろしく申し上げます。

○浅川教育総務課長

はい。12月の定例会議の日時と場所をお決めいただきたいと思います。事務局からは12月22日木曜日午後3時半から、市役所で行う案でお諮りします。

○長谷川教育長

まず定例会の日程ですが、12月22日木曜日、15時30分。この15時30分というのはその前に総合教育会議が予定されているということになろうかと思えます。市役所です。よろしいですか。

臨時会の方のご案内はございますか。

○浅川教育総務課長

11月21日月曜日、午後6時からを予定しております。場所は教育委員会会議室です。

○長谷川教育長

はい。よろしいですかね。月曜日、来週ですがよろしく願いいたします。

では以上で前半を終了いたします。お疲れさまでした。

14時51分休憩

14時52分再開

その他

○長谷川教育長

それでは後半にまいります。本日は議事がございませんのでその他に移りたいと思います。

県費負担教職員の人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

閉 会

○長谷川教育長

これで本日予定しておりました議事は全て終わりました。以上を持ちまして会議を閉じます。皆さん、お疲れさまでした。

14時55分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第19条の規定により、ここに署名または記名押印する。

令和4年11月17日

教 育 長

印

署 名 委 員

印

署 名 委 員

印

会議録を調製した職員

印